育てあい、育ちあう

広報 わかば

２０２０年３月　創刊号

社会福祉法人わかば会　盛岡市西松園３丁目１９－６
発行責任者　鈴木浩太郎
☎：０１９－６６１－３１０３
fax：０１９－６６２－５１２９
http//www.wakaba-kai.or.jp

法人の理念

＊社会福祉法人わかば会は、子どもの人権を尊重し保護者と協力しながらその健やかな成長のために尽くすとともに、保護者が安心して子どもを預け働ける環境づくりに努めます。

＊未来の主人公となる子ども達の権利を尊重し、豊かな乳幼児期を保障することを基本とし、保護者の皆様と一緒に保育を創っていくことを大切にしてまいります。

＊子どもが本来持っている能力を引出し、豊かな感性を育み、一人ひとりが仲間の中でゆっくりじっくりと自分を育てていけるような保育環境づくりに努めます。

＊子育て支援や地域福祉の向上を目指し、地域の子育ての拠点となるよう努めます。

法人運営施設

■わかば保育園　■本宮保育園　■うえだ保育園
■北松園風の子保育園
■がんちゃんすくすく保育園
■宇宙学童クラブ　■ 第二宇宙学童クラブ

雪遊びの最高の楽しみ、わかば保育園園舎向いの土手（法面）から豪快に雪滑りを楽しむ子どもたち。

創刊によせて

社会福祉法人わかば会
理事長　鈴木浩太郎

日頃皆様方には、「社会福祉法人わかば会」の運営に対しまして、ご支援、ご協力に感謝申し上げます。

当法人は、１９８１年に設立以来、間もなく４０周年を迎えようとしています。思い起こせば、１９７３年４月、当時、岩手大学生協に働くお母さんたちが、安心して働き続けられるようにと「無認可保育所わかば保育園」を開設したのが「わかば会」の始まりでした。

以来、保育所づくり運動を通し多くのご支援をいただき、当時としては数少ない産休明け、長時間保育、支援児保育を行う「社会福祉法人わかば会わかば保育園」を開園しました。

その後、１９９２年に宇宙学童クラブ開設、１９９５年に北松園風の子保育園開園、２０１２年には市立本宮保育園と２０１８年に岩手大学岩手銀行保育所を受託・開園。続く２０１９年に市立うえだ保育園を受託・開園しました。

これまで、１５００名以上の子どもたちが卒園しましたが、引き続き、地域の子育て支援、放課後児童対策の拡充と働く人たちが安心して働き、預けられる保育園をめざし尽力して参ります。

今後とも、社会福祉法人わかば会への更なるご支援ご協力をお願い申し上げまして「広報わかば」発刊のご挨拶とします。

わかば会を支援する会
こぶしの会会長　大野眞男

この度、わかば会の広報誌が正式に発行されることになりましたことを、心からお喜び申し上げます。

これまでも、「こぶしの会」からわかば会の保育園や学童クラブの状況をご報告するお便りを手作りで発行してまいりました。しかしながら、わかば会が、５つの保育園、２つの学童クラブを運営するまでに大きく成長した現在、各園からの報告や記事が豊かに増え、そろそろ正式な会報にバトンタッチしていただくタイミングということで、今般の正式な広報誌「わかば」の創刊に至った次第です。

昨年度のやや拙速な保育料無償化でもわかるように、現代社会の中で子育て支援は最重要課題です。子どもたちの健全な成長環境の確保、働くお母さんやお父さんの支援、それらを通して地域社会がより活性化していくために、わかば会はこれまで以上に頑張ってもらわなくてはいけません。

新たな広報誌の創刊が、そんな社会的要請に応える第一歩につながることを強く期待しています。わかば会の一層の発展に向けて、父母の皆さま、ＯＢの皆さま、地域の関係者の皆さま方の変わらぬご支援を、よろしくお願い申し上げます。

ほいくえん紹介

わかば保育園

わかば保育園は、１９８１年に開園。開園当初から長時間、０歳児、産休明け、障がい児保育に取り組み、今年で39年目になりました。

近隣には県立博物館、四十四田ダム、松園自然観察園などがあり、四季折々の自然を感じながら過ごしています。

秋に行われた秋田のわらび座による「和ライブ」の、本物の体験に感動した毎日のように鬼剣舞ごっこです。年長児が「たいようわらび座」を誕生会で披露するなど、たちまち園内中に「わらび座」ブームが起こり、１・２歳児は手作りの扇と刀を手に

育てたスイカをパクリ

姫神登山・一本杉でかいぞ

3歳児は、年長児にあこがれて「ひかりぐみわらび座」を開催。4歳児も手作りの道具を使い「ドンパン節」を披露してくれました。

2月の生活発表会は、年長児が装束を身につけ、力強い鬼剣舞をオープニングで披露しました。

発表会が終わった今でも園内中で大きいクラスにあこがれを持ち、劇、劇ごっこ、リズムのまねっこあそびをしながら集団の中で育ち合っています。

うさぎは3羽飼育しており、うさぎの生態を年長児が調べお世話をしたり、お部屋のお掃除をしたり、大切に育て、小さい子どもたちも大好きです。

近くには高齢者施設もあり世代間交流や地域交流も盛んに行っています。

散歩途中には、施設の窓からおばあちゃんたちが温かい笑顔を送ってくれ、地域の方々にも見守られながら成長している子どもたちです。

住所：西松園３－１９－６
☎：019-661-3103
fax：019-662-5129

風の子保育園

北松園風の子保育園は、社会福祉法人わかば会の２カ所目の保育園として１９９５年に開園しました。

北松園の地域性や子どもたちの育っている環境などを考え、60名定員の小集団とし、きめ細かい家庭的な保育を創っていきたいとの願いから、保育を進め24年が経ちました。

北松園地区は、緑豊かで自然に恵まれた環境です。春にはふきのとうやつくしを摘んで味わったり、夏には虫取り、秋には栗やどんぐり拾い、柿もぎをしたり、四季折々散歩を通して自然に触れています。キャンプ、姫神登山など生の体験を通し、仲間と共に力を合わせた

おいしいおだんごどうぞ

でっかい大根・大収穫(４歳児)

住所：北松園４－１－５
☎：019-663-2217
fax：019-663-2256

本宮保育園

本宮保育園は公立園の民営化を受け８年目になりました。

原敬記念館、本宮地区老人・児童センターと連携し地域の保育園として毎日にぎやかにすごしています。

春は、地域の方から「ひとめぼれ」の苗をいただき、園庭の田んぼにはだしで入り代かき、田植え、草とり、水の管理など、お米づくりに取り組み、3kgの米を収穫しました。

また、今年度初めて、近くの長沼リンゴ園まで歩いていきりんご狩りを楽しみました。

花より団子！（５歳児）

アリージョナ、サンフジ、はるか・・など、大事に育てられ農協さんに出荷するまで観ることができました。

6月に知り合いの仲田さん（滝沢市）からウサギをいただき「ふわちゃん」と命名。年長さんがゲージのお掃除やクローバー、人参、ラビットフードを与え、お世話し「ふわちゃん」に癒されています。

10月には、園舎屋根に太陽光パネルを設置し再生可能エネルギーの利活用に努めています。

今年は雪不足が心配されていますが、２月はじめの雪に子どもたちは大喜びでそりや雪合戦、雪像づくりで楽しんでいます。

住所：本宮４－３８－１０
☎：019-636-1446
fax：019-636-2156

うえだ保育園

今年度から市立保育園の民営化に伴い「わかば会」の仲間入りをしたうえだ保育園（１２０人定員）です。

高松の池のすぐそばに新築なった新園舎で、豊かな自然に囲まれた環境の中で０歳から５歳児まで毎日のように散歩を楽しんでいます。

10月の初めには子ども達の成長を喜び合う発表会を行いました。

「わかば会」では２月に行っている発表会をこの時期に取り組むために一苦労でしたが、子ども達はごっこ遊びや劇づくりを楽しんで創り上げ発表しました。

１歳児のふれあい遊び(大根漬け)

高松の池周辺探索（3歳児）

年長組は「黄金のかもしか」の劇に挑戦。欲張りな王様から黄金のかもしかを助ける心優しい少年のお話にでした。

今は、太鼓の音を響かせて19名が巣立つ「わかば会」となって初めての卒園式を楽しみにしています。！！

子ども達も感動し共感しながらみんなで力を合わせ取り組みました。

２月14日は、４・５歳児リズムの会を行いました。

多くの仲間たちと様々な経験を重ね、一回りも二回りも大きく成長した子ども達の姿を保護者の皆さんと一緒に喜び合った会

住所：高松１－９－４３
☎&fax
019-661-1234

がんちゃん保育園

がんちゃんすくすく保育園は、岩手大学の男女共同参画推進の一環として、２０１８年３月に開所しました。

大学の構内にある自啓寮、同袍寮の近くに建てられた定員12名の小さな保育園です。

保育園は企業主導型の認可外施設ですが「わかば会」の前身、高松わかば保育園が岩手大学生協の職場保育所として始まったことの縁もあり、わかば会が運営を受託しています。

園庭の畑でいも掘り

バスごっこ（１・２歳児）

主に０～２歳児の子どもたちですが、植物園でさまざまな草や木に触れたり、ドングリやカリン、黒クルミなど自然の恵みをどっさりいただいています。

農学部脇の羊の鳴き声が聞こえる園舎のすぐとなりは、厩舎や田んぼ、りんご畑があり時々おすそ分けもあります。

小さな保育園で大きく育っていく子どもたちです。

住所：上田３－１８－１４
☎：019-601-3822
fax：019-601-3823

宇宙学童クラブ

宇宙学童クラブは、「わかば保育園の保育を受け継いだ放課後生活を送らせたい」「安心して働き続けられるように夜７時までの保育を」との保護者の願いから生まれました。

平成28年に第二学童が設立され、現在、宇宙学童は29名、第二学童は24名の子どもたちが在籍しています。

毎日「ただいま」と大きな声で帰ってきては、宿題を終わらせ？すぐに遊び始める子どもたち。今年は夏休みにはなかよし学童さんと百人一首交流会、冬休みには県立大学のブルダッチ部の方が来所。みんなでダブルダッチに挑戦しました。

日々の生活の中では、子ども同士のけんかやトラブルもありますが、それらを通して子どもたちが学び、考えながら成長しています。

学童で過ごした経験のある子どもたちは、本当に強く生きていける力を持っています。

これからも保護者の皆様と一緒に子どもたちが楽しく安全に過ごしていける場でありたいと思います。

住所：西松園３－１８－１２
☎：019-662-1113

2019年度　社会福祉法人わかば会のうごき

うえだ保育園開園

昨年４月14日、「わかば会」５園目の保育園として新装なったうえだ保育園ホールを会場に、うえだ保育園の開園・落成式を開催。

谷藤市長（写真上）は、地域の子育て支援の拠点として期待すると祝辞を述べました。

地域の町内会長さんをはじめ大勢の市内各保育園関係者の参加をいただき、心温まる「会」となりました。

また、職員が虎舞を披露しました。

太陽光発電の利活用

わかば会は、地球温暖化が深刻な中、温暖化ストップに少しでも貢献したいと各保育園に太陽光発電システムを導入しました。

２０１７年度にはわかば保育園２０１９年度は、本宮北松園、うえだの各保育園の園舎屋根に整備。同時に光熱費の大幅な節減に役立っています。

うえだ保育園の太陽光発電

地域貢献活動

楽しい食事風景

「わかば会」は、地域貢献活動の一環として「おひさまキッチン（子ども食堂）」への支援とライブ公演活動を展開しています。

「おひさまキッチン」は、２年前に、東松園２・３丁目町内会ふれあい館（集会所）を会場にスタート。

２年間で累計５４２人の子どもたちが利用し、高齢者など大人の参加が３２５人、スタッフ３９３人を含めると１２６０人の皆さんが関わってきました。

地域で支え、つながる地域活動として支援しています。

わらび座和ライブ公演

わらび座和ライブ公演は、松園地区公民館で開催され、今年で３回目の取り組みです。

職員による鬼剣舞

お世話になっている地域への感謝を込め老人クラブなど地域の皆さんを招待し、民舞など伝統芸能を鑑賞。

当日は、職員による鬼剣舞も披露されました。

職員研修

わかば会の学習会は、「保育の質を高めるために」をテーマに、全国保育団体連絡会会長の大宮勇雄先生の講義を聞き、「子どもの主体性を育てるための学びとは何か」を学びました。

その後、全国保育団体合同研究集会の分科会提案者（３名）から提案発表を聞き、学びを深めました。

午後は、合研と同様に年齢別の分科会に分かれて、出来上がったばかりの『わかばの保育』の冊子を基に、テーマ別学習をしながら各園同志の交流も深めました。

保育合研に参加した職員から合研の報告を受け保育の学びを深めました。

本部事務局体制の確立

事務処理の効率化を図るため、各保育園に配置していた事務職員を１カ所に統合し、法人事務局を設置しました。

これにより、各施設毎で行っていた経理事務などを本部事務局が一括して行っています。

事務局は、わかば保育園園舎脇の元宇宙学童クラブ室です。

法人の沿革

○1973年4月　岩手大学生活協同組合職場保育所として開設
○1975年4月　保育園の名称を「わかば保育園」とし、地域共同保育所となる。
○1980年2月　社会福祉法人わかば会設立。
○1981年4月　わかば保育園開園　産休明け、7時まで延長保育支援児保育開始。
○1992年4月　宇宙学童クラブ父母会運営で開所。
○1995年7月　北松園風の子保育園開園。
○1997年6月　わかば保育園休日保育開始。
○1999年4月　宇宙学童クラブ法人運営になる。
○2004年11月 宇宙学童クラブ保育室新築。
○2007年12月 わかば保育園全面改築、一部増築。
○2012年4月　盛岡市の民間委託で本宮保育園開園。
○2016年7月　第二宇宙学童クラブ開設。
○2018年3月　岩手大から岩手大学・岩手銀行保育所受託運営。
○2019年4月　盛岡市の民間委託でうえだ保育園開園。

わかば会MAP

給食室　食べることはいきること

給食で大事にしていること

①一汁三菜の和食中心の献立　②家庭で触れる機会がなくなっている郷土料理を積極的に取り入れる　③おやつは手作りをモットーに調理をしています。

畑づくりや米作りでは、毎日食べているお米や野菜が収穫されるまでの工程を体験。収穫した野菜はカマドで煮炊きし、湯気が立ち上る鍋を囲んで料理したものを味わったりします。

「さんま焼き」や「鮭のチャンチャン焼き」は、旬の魚を目の前でさばき焼いて、五感で感じる行事なども行っています。

栄養士による鮭の解体ショー

保育運動にさくら咲く
給食費の無償化に大きな一歩

令和元年10月から「子ども・子育て支援新制度」がはじまり、3歳児から5歳児までの保育料が無償化になる一方で、これまでなかった3歳以上児の給食費の実費徴収が始まりました。

給食は保育の一環として食育を大切にしてきたわかば会としては、給食費の実費徴収は納得できないことでした。

私たちは「岩手県保育連絡会」の一員として、少子化が進む中、産み育てやすい環境を創るために、盛岡市に対し給食材料費の無償化や子育て支援の拡充を求めて運動を進めてきました。

盛岡市は新年度予算で、0～2歳児の第2子以降の保育料の無償化（年収550万未満）。3～5歳児の副食費へ4500円（年収550万円未満）の補助を予算化。

また、学童保育クラブへの支援でも、市長、議会への要請や議員懇談を通じて、保育料の軽減、施設修繕への支援策などを求めてきました。

このたび、市の新年度予算で年収550万円未満世帯で、兄弟で同時に利用している場合は、第2子以降の利用料を無料に。低所得世帯（就学援助受給世帯、ひとり親世帯など）は月額3000円に、生活保護世帯は無料に、初めて市独自の軽減施策が予算化されました。

保育をしながらの運動はなかなか成果が出ず、意気消沈することが多かったですが、あきらめずみんなで運動した成果を保護者と共に喜べることとなり、今後の保育運動に力を得た結果となりました。

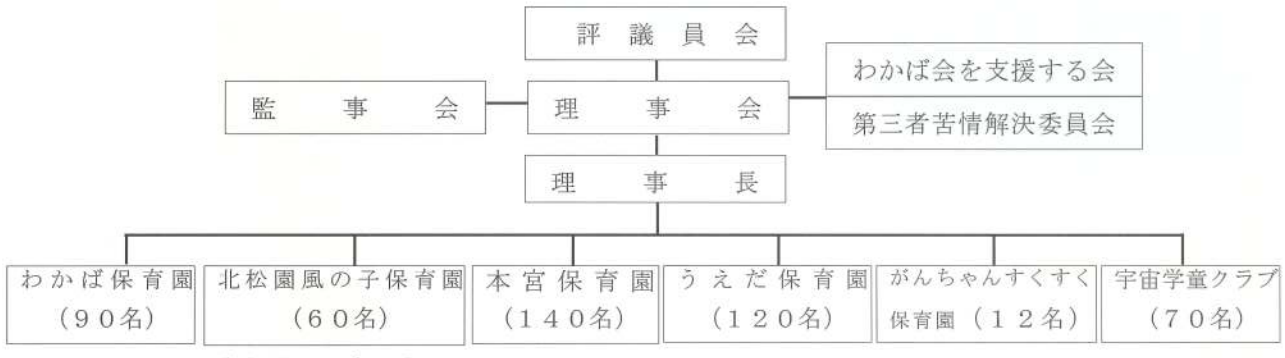
わかば保育園
園長　山蔭悦子

あとがき

多くの方のご協力をいただき、無事「創刊号」をお届けすることができましたことに感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大で、突然の全国一律小中高の休校要請は、学校より濃密な接触が避けられない学童クラブ、保育園等が一律休校から除外されました。学童クラブは、子ども同士1m以上離れて活動するようにとの厚労省の通知があったとのこと。この間の対応が科学的な根拠もなく行われていることに怒り心頭です。改めて子どもたちの安全が確保される対策を急いで求めたいと思います。（礼）

社会福祉法人わかば会組織図



わかば会役員紹介

	理事会			監事会		評議員会			
1	理事長	鈴木　浩太郎	1	木村　泰雄	1	大森　紀代美	7	武田　壽郎
2	常務理事	佐藤　秀子	2	渕向　ちえ	2	菊池　陽子	8	櫻庭　志美子
3	常務理事	鈴木　礼子	3	吉田　絹子	3	久保　彤	9	佐藤　克郎
4	理事	小田島　弘			4	鈴木　邦夫	10	小枝指　好夫
5	理事	千葉　勝			5	攝待　逸子	11	谷藤　育子
6	理事	山蔭　悦子			6	高畑　アサ子		